

平成31年度 学力向上グランドデザイン

二本松市立安達中学校

めざす生徒像

自ら学び自ら考える生徒

生徒の学力の実態

- ・ 全国平均程度の学力(NRT)である。
- ・ 表現力が十分身につけていない。

生徒の姿

- まじめな態度で授業に臨んでいる。
- 与えられた課題に真剣に取り組む。
- 発表や説明にやや苦手意識がある。
- 学習後の達成感が不足している。
- 学力の2極化が見られる。

保護者の願い・地域の期待

- ・ 学力の向上
- ・ 子供の希望進路実現
- ・ 明るく活発な人材の育成
- ・ 生きる力の育成
- ・ 心の教育の充実

☆ 目標を達成させるために ☆

- ・ P D C A のサイクルを機能させる。
- ・ それぞれの具体的な数値目標を設定する。
- ・ 日常の指導、授業、総合的な学習の時間を充実させる。

「あだち中の学び」を基盤とした授業の設計・開発を通して、
主体的に学ぶ態度を育成し、「確かな学力」の定着と向上を図る

PLAN

- | | |
|--|---------------------------------------|
| 目標値1 各教科の平均偏差値 53以上 (NRT) | 目標値4 各教科の1の段階の生徒20%減 (NRT) |
| 目標値2 自ら発表しようとする意欲のある生徒 70%以上 (アンケート結果) | 目標値5 各教科の学習に興味をもっている生徒80%以上 (アンケート結果) |
| 目標値3 友だちと協力したり、互いに考えを比べたりして学ぶことができる生徒70%以上 (アンケート結果) | |

DO

- | | | |
|---|--|---|
| <p>【 授業を支える日常の指導と手だて 】</p> <p>① 読書活動の推進
⇒朝の読書への取り組み</p> <p>② 学習の基本の徹底
⇒学習訓練の反復と学び合いの実践</p> <p>③ 基礎学力の確実な定着
⇒朝の学習活動の実施 (国数英)
⇒繰り返し学習の実施</p> <p>④ 家庭学習の時間の確保と習慣化
⇒がんばりノートの活用
⇒家庭学習スタンダードの活用</p> | <p>【 授業における取組と手だて 】</p> <p>⑤ 個に応じたきめ細かな指導
⇒課題選択学習、補充・発展的な課題の導入</p> <p>⑥ 各種調査に基づく授業の質的改善
⇒授業評価・学習状況調査の実施・分析
⇒指導力アップツールウィークの実施
⇒ふくしま活用力育成シートの活用</p> <p>⑦ 主体的学習活動の充実
⇒「あだち中の学び」を基盤とした授業の改善</p> <p>⑧ まとめ・評価の工夫
⇒自己評価カード、相互評価活動の効果的利用</p> | <p>【 学級・学習集団づくり 】</p> <p>⑨ Q-U検査結果の分析と活用
⇒生徒一人一人の理解と支援
⇒計画的な教育相談の実施</p> <p>⑩ 主体的な学びを支える学級・学習集団づくり</p> <p>⑪ 学校行事等への積極的な参加
⇒意図的・計画的な指導計画の工夫</p> |
|---|--|---|

CHECK

- | | | |
|---------------------------|----------------------|--|
| ② ④ 教育目標アンケート | ⑧⑩⑪ 教師の見取り、自己評価、相互評価 | → 目標の達成度
A 90% B 70%
C 50% D 30% |
| ② ③ 基礎学力強化週間 | ⑨ 学習に関するアンケート、相互評価 | |
| ⑤～⑧ 授業評価学習状況調査・定期テスト・学力検査 | | |

ACTION

- | | | |
|---|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 「あだちの学習」の徹底 ・ 学習環境の整備 ・ 生徒活動の場の設定と教師の支援の見直し | <ul style="list-style-type: none"> ・ 個に応じた指導の工夫・改善 ・ 見通しを持って学習に取り組む環境整備 ・ 「あだち中の学び」を基盤とする授業の展開 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 総合的な学習の時間の充実 ・ 単元構成の分析と活用 ・ 安達中学校区スタンダード (まなび) の実践 |
|---|---|--|